

東洋医学と西洋医学を連携させた総合的治療を目指して



漢方医学センター長 野尻 俊輔 (のじり しゅんすけ)

名古屋市立大学病院では3月1日より漢方医学センターを開設しました。漢方とは古来中国より伝来した医学が長い年月をかけて日本独自の発展を遂げた医学ですが中国、韓国、台湾等にもそれぞれ独自の医学があり大きくまとめて東洋医学と称し、西洋医学と区別しております。科学的なエビデンスを積み重ねて進歩してきた西洋医学に対し、1000年以上も前から独特の伝統的思考過程をもとに今でも大変よく使用されている漢方治療はある程度の効果を感じている医師の方は多いと思います。最先端の西洋医学を担う大学病院ではゲノム治療や急速に進化する抗癌剤治療が中心であります。しかしご存知の通り未だに完全に治癒させることができる疾病は稀であり治療効果以上に多彩な副作用も深刻な問題であります。漢方医学センターとしての役割はこういった現代診療において西洋医学では対応しきれない症状、病状の緩和改善を東洋医学的な診察法による漢方薬併用にて改善していくことにあります。外科、泌尿器科、内科（特に消化器）、いたみセンターの各医師が週1回ずつ外来担当をしており各分野専門の漢方治療をしております。総合漢方外来（内科）としては毎週金曜日にそのほかの科は火曜日に開設していますので症状に合わせてご紹介いただき、複数の科にまたがった症状病態で迷う場合は総合漢方外来（内科）へご紹介ください。漢方治療のみで治療をするのではなく西洋医学をベースとして東洋医学を併用していく治療を実践します。総合漢方外来の特徴として診療担当の野尻は肝硬変、肝癌、脂肪肝の専門であることよりその分野の治療は特に一歩踏み込んだ治療を実践し、一般内科的な難治症例には中国医学の専門家を招きアドバイスを受けながらエキス処方ではなく植物の葉、茎、根、鉱物、動物、虫類を使用したいわゆる生薬による治療成功例も経験しています（これらは保険適応です）。

既存の治療で中々治療効果が出ない症例、現在の西洋医学の範疇では治療法がほとんど提示されていない症例等お困りの症例があればお気軽にご依頼ください。もちろん全例に十分な効果を出せる訳ではありませんが日本漢方、中国医学両視点からの併用治療で少しでもお役に立てればと思っております。

★今回より動画配信にて視聴いただけます。視聴期間 ~7月31日(金)まで

講師：名古屋市立大学病院 循環器内科 助教 藤田浩志先生

胸を開かず心臓の手術を！ ~カテーテルで大動脈弁を治します~

必要事項を入力し下記Eメールアドレスまでお申し込みください。

renkei@med.nagoya-cu.ac.jp

必要事項： 件名に「7月」とご入力ください。

○医療機関名・所属 ○氏名 ○職種 ○電話番号

*お送りするURLをクリックするだけ！

*視聴期間内のご都合の良い時間にセミナー動画をオンラインで視聴

桜山地域医療連携講演会

WEB同時開催

2020年8月1日(土)16:00-18:00

名古屋市立大学病院 3階大ホール

要申し込み

プログラム(予定)

- 高齢者によくみられるめまい疾患 耳鼻いんこう科 教授 岩崎真一
- シームレスな前立腺がん診療を目指して 泌尿器科 助教 恵谷 俊紀
- 当院における診断・治療および前立腺がん術後地域連携パス -
- 糖尿病、腎臓病グループ指導のご案内 栄養管理係 管理栄養士 川瀬 理絵
- 多分野を網羅する 名市大 整形外科診療 整形外科 講師 野崎正浩
- 皮膚がん診療 update 最新の治療から皮膚がんの見分け方まで 皮膚科 講師 加藤裕史
- 令和 糖尿病革命 一名市大の取り組みー 内分泌糖尿病内科 准教授 田中智洋

WEB参加 申し込み方法 7/27(月)締切 renkei@med.nagoya-cu.ac.jp

右記Eメールアドレス宛に必要事項：件名に「8月」とご入力ください。

○医療機関名・所属 ○氏名 ○職種 ○電話番号

・来場にてご参加希望の方は下記まで申し込みください。